

**令和3(2021)年度 松本市サッカー協会三種委員会
主催大会における新型コロナウイルス(COVID-19)感染予防ガイドライン【改訂版】**

2021-10 松本市サッカー協会三種委員会

1 感染対策責任者について

主管責任者である、松本市サッカー協会三種委員長、塚田道彦氏がこれにあたる。
本指針の責任者設置にあたっては、(一社)長野県サッカー協会の「新型コロナウイルス対応 NFA サッカー活動ガイドライン」に基づく。

2 感染予防対策の具体 (主語は主として指導者)

(1) 大会前日まで

- ① 一人ひとりが日常的に感染予防を心がける。
- ② 選手・指導者は毎日の検温及び健康チェックを行い、体調不良の場合は登校やトレーニング参加に配慮する。
- ③ 指導者は「松本市中学生期のスポーツ活動指針」に基づき、天候に応じたトレーニングにも配慮する。
- ④ 選手・指導者に陽性反応者が出現した場合は、校長判断の下、競技運営委員長と感染対策責任者に状況を報告し、「原則として」出場辞退を申し入れる。 感染対策責任者は、市協会事務局へ報告する。

(2) 大会前日

- ① 参加予定選手一人ひとりの健康状況を把握する。
- ② 当日日程や注意点、会場までの往復方法等を、選手・保護者に確認、徹底させる。
- ③ 上記(1)④の状況が前日に発生した場合も同様である。

(3) 大会当日

- ① 各学校で使っている健康チェックカードを持参し、必ず検温をして顧問が朝確認の上参加させる。
- ② 外部コーチ、部活動指導員、帯同審判等の方々も検温をしていただき、体調が悪い場合は参加を控えていただく。
- ③ チーム・運営者のミーティングは、換気が可能な場所において選手や指導者がソーシャルディスタンスをとれる程度の密集しすぎない場所や、飛沫飛散防止の配慮をすると共に、短時間で進行よう努める。
- ④ 開閉開式は行わない。表彰は代表者のみとし、簡略化する。
- ⑤ 集合・解散時刻は、試合時刻に合わせて各チームで計画を立て、不要な滞在をしない。(試合開始の 1.5～2 時間前程度が望ましい。)
- ⑥ 感染警戒レベルによっては無観客試合とする場合がある。保護者や学校関係者であっても、観戦を禁止する。観戦が許可されている場合も、マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保・声を出しての応援自粛等に配慮すること。
- ⑦ 試合に出場していない部員も、声を出しての応援はしない。
- ⑧ 試合を行っていない時間、試合中もプレーに関わっていない選手、指導者(ベンチ内等)は原則マスクを着用する。(熱中症や暑さ対策に配慮した上で)
- ⑨ 試合開始前のセレモニーでの握手・ハイタッチ等を行わない。
- ⑩ 円陣を組む場合は、肩を掛け合ったり手をつないだりすることは控える。選手間約 1m の間隔を意識する。
- ⑪ ピッチサイド及びベンチにおける給水は共用を避けるため、スクイズボトル・水筒は個人で用意して使用する。また、氷等の処理にも十分配慮する。
- ⑫ 当日の会場管理者と相談の上、手指消毒ボットの設置や会場トイレ、ベンチ、本部内の机や椅子等の消毒作業を補助する。また、紙タオルやゴミ処理袋等も準備する。

(4) 大会事後

- ① 事後 3 日以内に体調不良(発熱・倦怠感・味覚、臭覚異常等)が認められた者(選手・指導者)に注視し、報告事項と判断した場合は競技運営委員長に報告する。上記(1)④の場合も同様である。
- ② 大会反省事項があれば、競技運営委員長に上申すると共に、上記(1)①～③に引き続き取り組む。

3 その他

- (1) 本文書は、大会前に校長・選手・保護者に配布し周知する。
- (2) 意見や要望があれば、顧問経由で感染対策責任者に連絡する。

【感染対策責任者】
<松本市サッカー協会三種委員長>
塚田 道彦